

1 草木染めの実地について

○11月15日(火) 9:30～11:30 金田、本田、清水、篠田、

バナナの葉を使って、ハソリ二つ各30リットルで1時間程度煮て染液を作った。リリーン、英語の先生、生徒4人程度が対応

○11月16日(水) 8:30 バイオン中学校着

・バナナの葉を取り出し染液を60度まで温度を上げ、バケツに分けた。(清水)

染液は黒っぽいほどの茶色でよく成分が出ていた。もともと30度程度の温度があり60度の維持は難しく60度以上になって手を入れにくいほど熱くなった。一方のハソリで湯を沸かし、重曹とミョウパンをいれて媒染液を作った。(篠田) リリーン、英語の先生対応<9:00から10:00式典参加>

・10:00～12:00 3年生40人が下図のような手順で、Tシャツ100枚をバナナの葉で染めることに臨んだ。染液が濃く、最初は茶色に染まるものが出来上がった。その後染液が薄まり黄色に染まるものも出来上がったが100枚100色の黄色っぽいTシャツが染め上がった。絞り方が緩く水分が入るため染液の濃さを一様にするのはむずかし。リリーン、他の先生3名、カン、大瀧、榎本、中尾対応、生徒が染めるのと並行して、笹の葉をハソリ二つを使って煮詰め翌日に使う染液を作った。

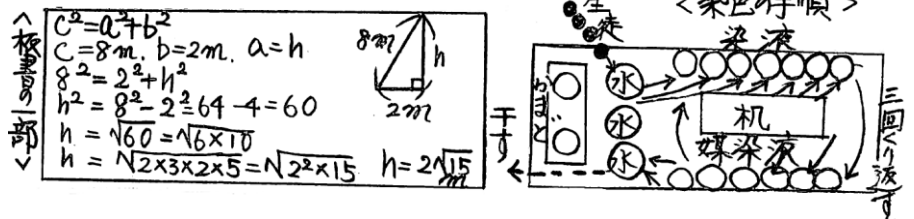
○11月17日(木) 8:30 バイオン中学校着 9:00 開始

・前日と同様の手順で1年生2クラスが、Tシャツ100枚を笹の葉で染めた。

笹の葉からも濃い色が出た。前日30度ほどの温度があったのでそのまま使うことにした。最初きれいな黄色に染まったが、媒染液に入れると色が落ちてしまい薄いページ色になってしまった。前日作った媒染液を使ったため成分が変質したと考えられる。後半のクラスでは媒染液を使わずに染めることにしたが、染液が薄まり黄色にうまく染まらず、前日同様薄い黄色が100様に出来上がるようになった。リリーン、他の先生2名、大瀧、中尾、大須賀、篠田対応

・かまどを使うので微妙な温度管理が難しい、媒染液は保存がきかない、染液の濃さを一様にするのは難しい、大量の枚数を短時間に染めるのは難しい等の問題点があり、黄色チームのユニホームとして使用できるか心配が残った。

・一方で、生徒が自らの手で身近なものから染めて作ったという意義は認められる、200枚200色の草木染めの特色を味わえる、200枚の中から120枚程なら黄色らしい色が選べるかもしれない。ご検討いただきたい。



2 数学授業の実態について

○11月18日(金) 9:00～9:50 9G(中3) Aクラス数学授業参観 篠田・本多・大瀧

・Aクラスは最上のクラス、授業に入る前に掛け算の百升問題を行ってもらった。みんな興味を示し笑顔で挙手する子が多かった。写真参照 順番に答えさせると一生懸命考えている子もありすぐ反応できるまでではない。授業は三平方の定理学習後の練習問題を解く場面。教科書が2人に1冊で教師が板書したことを全員忠実にノートにとっていた。その後解き始めるがゆっくりな感じ。公式への代入はスムーズだったが√の答えのあとの処理につまずく子が多かった。

・同じ日Cクラスでは√の加減法を扱っていたが、ここが十分定着していない様子であった。学習内容は日本とほぼ同じ、数学の先生は1名、進級試験の数学の配点は100点と高く一番問題があるとのことであった。(進級試験の配点 数学・クメール語各100 歴史・地理・科学・化学・道徳・英語各50 計500点で250点以上合格)

3 小出さんより いろいろな体験を記録して残せるとよいので作文指導をしてほしい。